

# 勾配天井により階高をおさえつつ、内部空間を有効利用

所在地：千葉県山武市美杉野  
 設計：ミサワインターナショナル株式会社  
 構造：ミサワインターナショナル株式会社  
 施工：ミサワインターナショナル/HABITA提携企業  
 構造/規模：木造軸組構法/2階建  
 面積：(敷地) 約330㎡  
 (1階) 66.24㎡  
 (2階) 59.62㎡  
 (延床) 125.86㎡  
 竣工：2008年5月

屋根の構造：平形屋根スレート葺き  
 アスファルトルーフィング  
 構造用合板t12  
 横筋縁45×30@455  
 AFボードt30  
 ラーチ構造用合板  
 t24あらわし



吹き抜けのある居間



廊下から居間を見下ろす

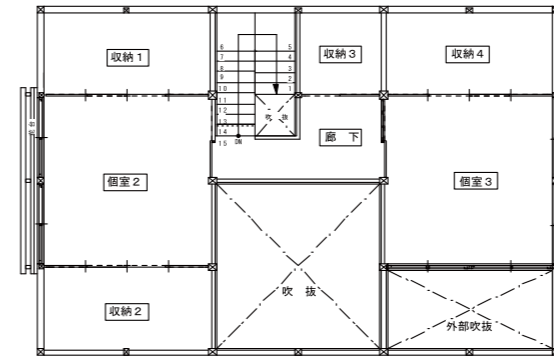


個室2

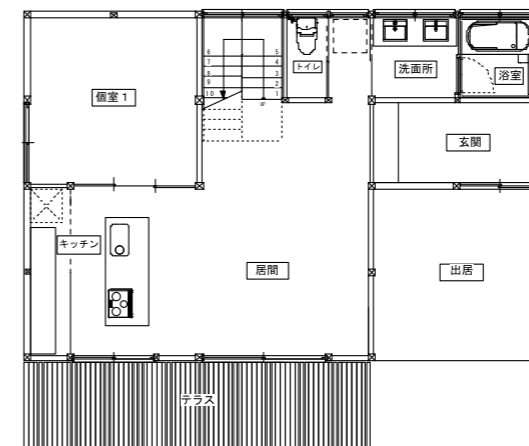


建物外観

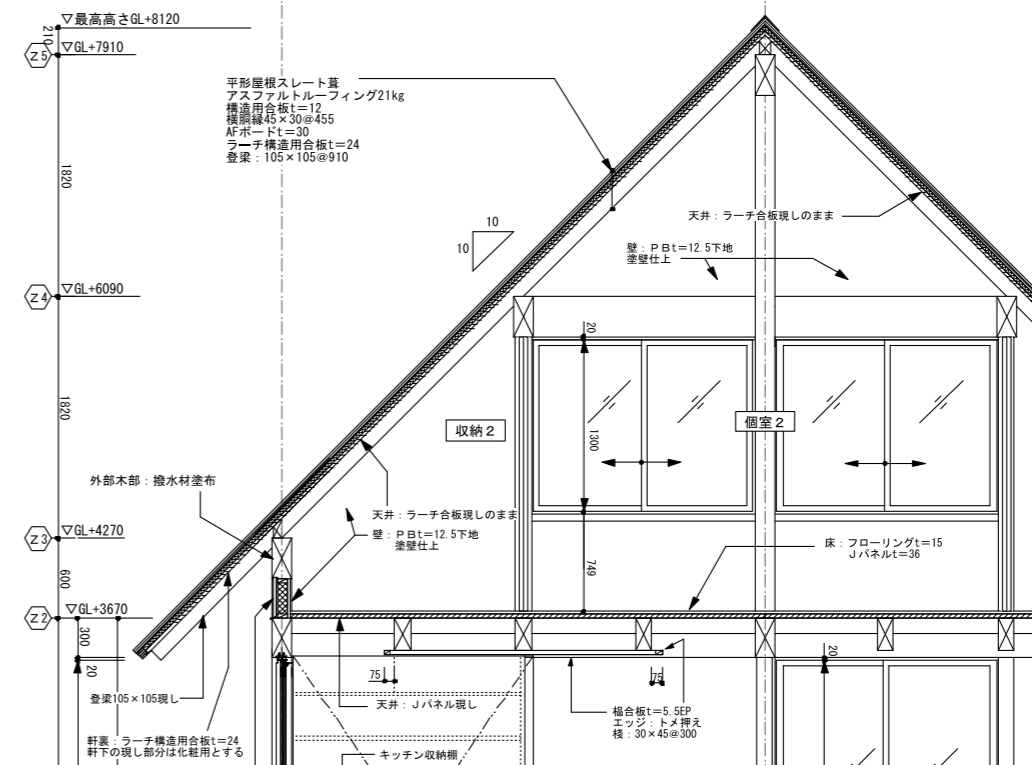
平面図・2階(1/200)



平面図・1階(1/200)



断面詳細図(1/50)



## 住宅の概要

本建物は、ミサワインターナショナル株式会社が提案する住宅「HABITA」のモデル住宅の一つである。HABITAは、日本と海外の数百年の歴史を持つ古民家に学び、200年残すべき価値のある美しいデザイン、家族の絆や思い出が残り何世代にもわたって引き継がれてゆく住まいづくりを、地域工務店とともに推進している。

HABITAの特徴は、集成材を用いた5寸角の柱・5寸×1尺のはりにより構成される骨太の内外真壁構造である。シンプルな骨組みにより世代を超えた住み替えが可能となるスケルトン・インフィル住宅である。また、構造材には国産材を活用し、国内の森林経営の安定化・活性化に寄与している。

## 屋根構造の概要

屋根は、3尺間隔で配置された3.5寸角の垂木に厚さ24mmの構造用合板をくぎ打ちして水平剛性を確保している。

2階の階高を600mmと低く抑えることでコストダウンに配慮しながら、屋根勾配を10寸とすることで、軒近くを収納・趣味のスペース、棟近くを個室空間に活用している。

厚さ24mmの構造用合板はそのまま室内空間に現し、集成材や漆喰壁と調和したインテリアとしている。また、外部も垂木・合板を現し、外部の柱・はりとともに木のあたたかみを表現している。